

心理支援折衷トレーニングコース model: IPISA 要項 (第2版)

～系統的・実践的に心理支援を学び、自身の対人(心理)支援に活かすためのトレーニング～

[概要]

カウンセリング/心理療法の学びは、「単発講座」や「SV」「オンライン視聴のみ」等、断片的なものとなりがちです。「折衷的に臨床を行っているという方が多い」ことが、日本臨床心理士会等で行われた調査から見られていますが、折衷の仕方自体が難しく、系統的かつ実践的な折衷的心理支援に関する継続学習の必要性を感じています。そこで国際心理支援協会では、**公認心理師や臨床心理士の初学者を主な対象とし、約1年間の集中的なトレーニング**を行うことにいたしました。

・国際心理支援協会から提供する Biblio (心理支援に関する動画見放題の月額サブスク) にある動画で基礎的な知識を身につけます (毎月、予習・復習に適する動画をお示しします)。

・1ヶ月に1回 (5時間程度) オンライン開催するライブ講座で学んだ知識を強固なものとし、その時には、不明な点について質問することも可能です。

・月2回 (平日夜1時間半/1回あたり) のグループスーパービジョン (以下、GSV) の機会を設け、動画や月1回のライブ講座で学んだ上での実践について、実際のケースを持ち寄り検討することで、生きた知識として実践に活かせるようにします。

1年間の中では、精神分析的な考え方から認知行動療法、家族療法、ブリーフセラピーなどの各種心理療法だけでなく、具体的にどのように折衷してケースを捉えるか、心理臨床家としての倫理や個室でのセラピーにとどまらない心理支援の在り方について様々に学び、1年で基礎固めを行います。その後、各種心理療法や各種領域を学んだり、実践するための基盤を固めることが本トレーニングの目的です。

本トレーニングを終える頃には、様々な理論や研修での学びを自分なりに統合していく基礎をしっかりと身につけ、適度な自信を持って適切な心理支援が行えるようになるでしょう。

[お申し込み]

お申し込みは、こちらのフォーム <https://ws.formzu.net/fgen/S58602845/> にご入力ください。

お申し込み可能期間は、本 PDF 掲載日より定員に達した時点、もしくは4月17日までとなります。

[本講座の受講によって得られるもの]

精神分析、認知行動療法、パーソンセンタードアプローチ、家族療法、ブリーフセラピーなど心理療法に限らない心理的な支援方法を、折衷・統合して安全に心理支援を行うための「心理支援・臨床 (カウンセリング) 実践の基礎」。

※本講座を受講することで、心理職としての力が大幅に伸びることを保証するものではありません。上記についてよくご確認・ご理解いただいた上でお申し込みください。

[本講座の主な対象]

公認心理師・臨床心理士・医師免許のいずれかをお持ちの方で、（心理支援の）初学者、中堅未満の方がメインの対象。公認心理師養成大学院や臨床心理士指定大学院の学生の方、その他の守秘義務が課される対人援助職の方（精神保健福祉士、社会福祉士、介護福祉士、弁護士、小中高教員、保育士、幼稚園教諭、キャリアコンサルタント、産業カウンセラーなど）で、受講希望される方は応相談。

[定員及び最少催行人数]

定員:40人(最少催行人数:20人*)

*最少催行人数を下回る場合、本トレーニングは延期となります。その場合、お振込をすでにいただいている方に対して、振込手数料も含め全額返金とさせていただきます。

催行につきまして、4月17日までに登録のメールアドレスにご連絡いたします。

1ヶ月1回の毎月講義

日程(全11回)：

2024年5/26, 6/30, 7/28, 8/18(初版より変更のため注意!), 9/23, 10/27, 11/24, 12/29,
2025年1/26, 2/24, 3/23

時間帯：11時～17時（昼休憩1時間:13時～14時頃予定）

場所：Zoom（すべてオンライン実施）

※一回あたりの講義時間：5時間（5時間×11回[11ヶ月]=年間計55時間）

講師：浅井伸彦（一般社団法人国際心理支援協会）ほか

※今回(2024年)は、初めての試みでもあるため、講師は基本的に浅井伸彦（国際心理支援協会）としておりますが、必要や希望に応じて他の講師を招くことも柔軟に考えています。

1ヶ月2回の毎月グループスーパービジョン&質問会

日程(全22回)：

2024年6月～2025年4月の平日夜（2回/月）にGSV（質疑応答含むZOOMミーティング）を行います。

時間帯：平日19時半～21時

場所：Zoom（すべてオンライン実施）

※GSVの一回あたりの講義時間：1時間半（[1時間半×2回]×11ヶ月=年間計33時間）

※曜日については、フォームで希望を伺い決める予定。

講師：浅井伸彦（一般社団法人国際心理支援協会）ほか

※今回(2024年)は、初めての試みでもあるため、講師は基本的に浅井伸彦（国際心理支援協会）としておりますが、必要や希望に応じて他の講師を招くことも柔軟に考えています。

Biblio (予習&復習に用いる動画サブスクリプションサービス <https://ipsa-study.net>)

Biblio の視聴可能動画 (2023 年 9 月 30 日時点) :スタンダードプラン 90 時間以上。

⇒このうち、2024 年の 4 月中旬より、順にご視聴いただく動画を案内しますので、指定された動画 (数時間～10 時間超程度) を Zoom での毎月講義の日程までにご自身で視聴いただき、その上で毎月講義にご参加いただくことを想定しています。

※毎月新しい動画がアップされますので、時間数は増えていきます。

合計時間数(毎月 1 回の講義+毎月 2 回の GSV+Biblio の視聴可能動画)=178 時間以上。

[料金]

受講料 : 242,000 円[税込] 分割も可能、毎月払いの場合 22,000 円×11 ヶ月

Biblio 利用料(11 ヶ月分) :スタンダードプラン月 1,980 円[税込]×11 ヶ月 (年間合計 21,780 円)

=年間の合計費用 263,780 円

(1 月あたりで受講することはできません。11 ヶ月で一つのまとまりのトレーニングとなりますので、トレーニング自体の分割はできませんが、お支払いについては分割を可能とさせていただきます)

(分割の場合、月あたり合計費用 23,980 円)

※受講期間中 (2024 年 5 月～2025 年 3 月) は必ず Biblio に登録していることが必要です (講義の予習復習に Biblio 上の動画を利用するため)。Biblio については本講座終了後も、同じくスタンダードプラン 1,980 円で受講し続けることが可能です。

[概要]

5月	常識、倫理、傾聴、治療構造	カウンセリングやその他対人支援において、クライアントを余計に傷つけない、支援者としてどう振る舞うべきか、被支援者との関係性づくりについて。よくある事例や困難事例などを用いて検討、練習します。難しいシチュエーションにおいて何ができるか質疑応答も行います。
6月	中核三条件と傾聴、ダイアログ	カウンセリングやその他対人支援において、支援者の知っておくべき知識の確認や掘り下げ、練習の中で傾聴やダイアログ (対話) について学びます。カール・ロジャーズの中核三条件や、オープンダイアログやソリューションフォーカストアプローチの哲学などから、具体的実践に落とし込めるように、事例や参加者みなさんの体験を通して実践的に学びます。
7月	目標設定とリファーマ(紹介)、連携	心理支援に限らず、相談は目標設定や主訴が明確になっている方が、治療同盟を結んで回復に向かいやすくなる場合があります。その一方で、危機状態では目標が明確でない場合も多く、いまここで目の前にいる方の話をまずお聴きするということが重要です。支援者一人では、その悩みに対応できない場合もあるため、リファーマや連携をするための見極めについても学びましょう。
8月	精神医学と臨床心理学概論	精神医学や臨床心理学については、心理研修サブスクBiblio (https://ipsa-study.net) ほか、様々な書籍・講座で学ぶことができます。ただ、頭でっかちの机上の空論になってしまうことは、単なるラベリングにしかならず、また実際の支援と結びつかないことは往々にしてあります。ここでは、精神医学や臨床心理学を生きた知識とできるように、事例を通して学びましょう。
9月	トラウマインフォームドな支援	トラウマ治療・トラウマケアという言葉が徐々に知られてきました。具体的にはEMDR (眼球運動による脱感作及び再処理法) やPE (持続化曝露療法) などの個々のアプローチなど多くのトラウマ治療法が生み出されました。完璧なセラピーは存在せず、複数を組み合わせながら膨大な時間のトレーニングや臨床経験を積む必要があります。とはいえ、長年かけて学ぶまでトラウマに対するケアができないわけではありません。本講座では、特定のセラピーではなく、症状を悪くしないこと、また良い関係性を保つ方法について学びましょう。
10月	精神力動的視点	精神力動的心理療法は、心理療法の祖といわれるジグムント・フロイトの精神分析がその基となっています。有名なものとしては、精神分析的な心理療法、分析心理学、対象関係論、自我心理学、対人関係論などがありますが、これらの「学派」を極めんとするセラピストだけでなく、深層心理や無意識について考えることは見立てに役立つことでしょう。ここでは、このような精神力動的な視点について事例を通して学びましょう。

11月	認知行動療法的視点	認知行動療法は、もともと認知療法や行動療法、論理情動行動療法などからきています。またその最新世代の認知行動療法として、マインドフルネスを用いたものがあります。上記と同じく、これらの「学派」を極めんとするセラピストだけでなく、認知や行動、マインドフルネスという視点は見立てや介入を行う際に役立つことでしょう。ここでは、このような認知行動療法的な視点について事例を通して学びましょう。
12月	複数人面接や当事者不在時の支援（家族療法やオープンダイアログ）	対人支援の場では、1対1の密室の中での1時間弱のカウンセリングが全てではありません。むしろ、学校や企業内、事業所、コミュニティでの複数人が関わる中での支援、夫婦や親子、家族など家族関係に関する複数人に対する支援、また当事者とされる人（たとえば、不登校やひきこもり、問題とされる社員など）が不在の状態における支援など、様々な状況が考えられます。その際に、家族療法やオープンダイアログという視点が役立つことでしょう。ここでは、このような様々な状況でどのように振る舞えばよいか、事例やディスカッションを通して学びましょう。
1月	強みやリソースに目を向けること	対人支援の場だけでなく、日常においても原因や症状、問題と呼ばれるものには目を向けてしまいがちです。逆説的ですが、症状や問題に目を向ければ向けるほど、考えれば考えるほど、その症状や問題が酷くなることも少なくありません。このような場合、視点を転換させてみてはいかがでしょうか？強みやリソース（その人にとって資源となるもの）が増えて強まれば、症状や問題が減弱したり、消失したりすることも少なくありません。ポジティブ心理学やソリューションフォーカストアプローチをはじめとした、強みやリソースに目を向ける（忘れない）ということ、事例やディスカッションの中で身につけていきましょう。
2月	折衷的支援、統合的支援とは	これまでBiblioの動画や各回の講座で学んでこられたことは、一見バラバラのピース（かけら）のように見えるかもしれません。これをどのように折衷して扱っていくかはあなた次第です。人それぞれ、また現場によって支援のあり方は異なってきます。本トレーニングコース全体を通して、各人の学びをシェアし、折衷の仕方を学び、不明なことについては質問してみましょう。一人で悩みながらの支援を、みんなで支え合う支援へと変えていきましょう。初心を忘れてしまっていたら取り戻すことのできる回となればと思います。
3月	1年間のまとめとこれからの研鑽	1年間の本トレーニングコースで学ぶことは、あくまで対人（心理）支援の入り口でしかありません。ただ、着実に今後の学びをするための礎になればと考えています。これまでを振り返り、今後どういう学びを続けていくか、どういう支援をしていくかについてシェアできればと思います。

※本トレーニングコースのすべての回において、事例等プライバシーがかかわるものについては、厳に守秘義務を守っていただきます。

※本トレーニングコースのすべての回における「事例」とは架空事例、あるいは複数の事例を本質を損なわないように加工したものを指します。

[キャンセルポリシー]

2024年4月10日までにキャンセルのご連絡をいただいた場合、銀行振込手数料を除いた全額をご返金します。2024年4月11日～5月1日までにご連絡をいただいた場合は、銀行振込手数料と事務手数料22,000円（初月一ヶ月分）を除いた全額をご返金いたします。5月2日以降についてはご返金いたしかねますので、どうぞご理解の上お申し込みのほどよろしくお願い申し上げます。分割払いを希望されていた方に関しても、原則として不足分のお支払いをお願いすることとなりますのでご容赦のほどよろしくお願いいたします。

※なお、Biblioに関しては、<https://ipsa-study.net> を参照のこと。スタンダードプランは、7日間の無料期間がありますが、8日目からは1980円/月の課金がなされます。課金後の該当する月の利用料にかかる返金はありません。

[修了要件]

原則80%以上の出席。やむを得ず出席が出来ない場合には応相談。出席率が80%を下回っても、修了証をお渡しできませんが、受講を最後まで継続いただくことは可能です。

なお、講義形式の部分は極力、アーカイブ動画として残せるようにしますが、本講座はあくまで「トレーニング」です。月1回の「毎月講義」や平日夜開催のGSVにはできる限りライブで出席に努めてください。

[主催者]

一般社団法人国際心理支援協会

[お問い合わせ(電話番号は国際心理支援協会のHP上に記載がありますが、お問い合わせはメールでお願いします)]

E-mail: info@medi-counseling.com